

信濃毎日新聞

号外

発行所
 信濃毎日新聞社
 長野本社 〒380-8546
 長野市南黒町 657番地
 電話(026)
 受付236-3000 編集236-3111
 販売236-3310 広告236-3333
 松本本社 〒390-8585
 松本市中央 2丁目20番2号
 電話(0263)
 代表32-1200 報道32-2830
 販売32-2850 広告32-2860
 ©信濃毎日新聞社2021年

購読申し込み
 フリーダイヤル
0120-81-4341
 信毎web
<https://www.shinmai.co.jp>

安曇野市長選スタート

新人3氏が立候補 17日投開票



おおた けい 65 無新

無職・信大経営協委員^④県副知事・松本空港ビル社長・県住宅公社理事長◇京都大卒



ふるはた かい 70 無新

農業・碌山美術館理事・横内学園理事^④市教育委員長・大王総務部長◇金沢大卒



あらい ひさと 43 無新

政治団体「地域政党『信州義民の会』」幹事長^④衆院議員秘書◇信州大院中退

安曇野市長選立候補者(右から届け出順)

任期満了に伴う安曇野市長選は10日告示され、いずれも新人で、政治団体役員の荒井久登氏(43)、豊科田沢、元市教育委員長の古幡開太郎氏(70)、穂高牧、前県副知事の太田寛氏(65)、堀金烏川の3人が無所属で立候補した。人口減少対策や産業振興などを巡り論戦が始まった。投開票は17日。

荒井氏は市政を転換し、市民の声を反映させると主張する。避難所の整備や、市外からの視点を取り入れた産業振興の計画策定などを進めるとし、「市民が主役の安曇野をつくろう」と訴える。

古幡氏は医療や観光分野で働いた経験を生かし「住みよいまち日本一の安曇野市」を目指す。観光、教育文化、子育て、安全安心の4分野で都市宣言を行い、市の方向性を打ち出すとする。

太田氏は行政経験や幅広い人脈を強調し、政策の実現力をPR。「子どもたちの輝く未来へ新しい安曇野を興す」とし、18歳までの医療費無料化延長、アウトドアスポーツの聖地化などを掲げる。

任期満了に伴う市議選(定数22)も10日告示された。
9日現在の有権者数は8万1627人(男3万9379人、女4万2248人)。このうち18、19歳は計1789人。

詳細は本紙で

この号外は信毎webから印刷できます

